

フリーダム 掲示板

安威川ダムからのお知らせ

■ 安威川ダム工事現場を見学しませんか？

東京オリンピック開催の2020年の完成に向けて、安威川ダムの建設工事を行っています。場所は大門寺の近く。今はダムを造るために超大型重機で土や岩を掘削運搬しています。大門寺高台へ工事現場の見学に来てね。高台には安威川ダム資料館があります。安威川ダムや周辺の自然解説パネル、生きものマグネットを使って、安威川流域の生物多様性を学べるボードもあるよ。

阪急京都線茨木駅の西口の阪急バス「車作」行で、「大門北」下車が便利です。大門寺高台は、9時～16時であれば自由に見学できます。安威川ダム資料館の見学は、下記の安威川ダム建設事務所へ事前予約が必要です。



■ 情報交流センターに遊びに来てね。

茨木保健所の5階に安威川ダム情報交流センターがあります。昔の安威川の洪水状況や茨木市山間部の大型立体模型が展示してあり、まちの状況がよく分かります。夏休みの勉強に一度来てね。

※阪急京都線茨木駅から北へ徒歩約10分。茨木保健所のあるビルです。
※開館は、平日10時～16時です。



生物ベストショット募集!!

安威川流域で撮影した昆虫や野鳥などの生きもの写真を募集しています。審査・選考の上、秋に開催される「安威川フェスティバル2015」会場に展示予定。優秀作品は、表彰と共に記念品が贈られます。



対象 安威川流域の小・中学生
締切 平成27年8月31日
内容 デジタルカメラやスマートフォンなどで撮影した写真データで、1メガバイト以下のもの。1人1点のみ。
住所・氏名・学校名・学年・電話番号、撮影日時と場所、作品のタイトルを記載してメールにて送信。メールの件名を「生物ベストショット」として下記までお送りください。
E-mail aigawa-dam-g01@sbox.pref.osaka.lg.jp



応募作品は、安威川自然データベースに活用するため、著作権は大阪府に帰属することになり、必要に応じて発行物や自然関連の情報ツールなどで使用することを予めご了承ください。

きらめき太陽光パネル 見学とエクセルで 環境家計簿講座

とき 平成27年7月31日(金) 午前10時～正午
ところ 茨木市立生涯学習センター
対象 茨木市内小学4～6年生
定員 先着25人
内容 太陽光パネルの見学(雨天中止)、エクセル版いばらき環境家計簿の使い方を学ぶ
費用 100円
申込 講座名・住所・氏名・学年・電話番号をハガキ・ファックス・メール・電話で茨木市環境政策課 〒567-8505 茨木市環境政策課 TEL072-620-1644, FAX072-627-0289
メール e-seisaku@city.ibaraki.lg.jp
問合先 環境を考える市民ネットワークいばらき
担当 狩野(TEL 090-5152-2812)

トピックス

来る10月31日(土)には大門寺の高台で「安威川フェスティバル2015」を開催。さまざまな団体が集結し、安威川を食べる・楽しむ・学ぶ空間を提供します。ご家族やお友達と、ぜひお越しください。次号で詳しい内容をお伝えしますので、乞うご期待を!

大阪府安威川ダム建設事務所ホームページ
<http://www.pref.osaka.lg.jp/aigawa/>

安威川ダムおよび周辺のファンづくり会の情報サイト
<http://www.aigawa.jp/>

安威川



2015
Vol.1

フリーダムとは、英語で自由という意味。自由で楽しい水辺の環境をみんなで守っていきましょう。

あいがわ自然史博物館

世界最大の両生類

井伏鱒二の小説『山椒魚』で知られる本種は、そのイメージどおり、体長が最大で150cmにも達する世界最大の両生類です。ただし、自然環境下では100cmを超える個体はまれで、せいぜい70cm前後。それでもイモリやカエルなどに比べると、はるかに大きな生物です。

私たちの暮らす茨木市では、安威川の上流部に生息しています。近隣の水系でも生息が確認されており、京都府や兵庫県などの河川で標高400～600mくらいを流れる場所にいますが、比較的市街地に近い地域で目撃されることもあるようです。体に比べて目がとても小さく、体全体は柔らかく、ぶにぶにょよしたイメージ。全体に不規則な暗褐色の斑紋があります。まれに斑紋のない個体もいます。

食性は動物食で、カエルやエビ・カニ、魚類まで、生きた獲物をその姿から考えられないほど素早く、バクリと捕らえて食べます。夜行性なので、日中は巣穴などに潜んでいます。



オオサンショウウオ
Andrias japonicus

まれに、日中に見られることがありますが、見かけても絶対にさわってはいけません。国の特別天然記念物に指定されているので、特別な資格や許可がなければ触ったり捕らえたりできないのです。また、目の前で動くものを本能的に捉える習性があり、上アゴに鋭い歯を持ち咬む力がとても強いので、子供の指くらいなら簡単に食いちぎってしまいます。

まるで溪流の王者のようなオオサンショウウオですが、前肢・後肢は小さく、緩やかに行動する生物です。安威川では台風や大雨で、下流に流されて迷っている姿を発見された記録があり

安威川上流域に生息しているオオサンショウウオ。私たちは何十年前前から専門家の先生たちと見守ってきました。ただ、残念なことに、近年発見されている個体は成長した大きなものばかりで、幼生や幼体が見つかっていません。人と同じでオオサンショウウオも、大人・子ども・子孫と世代をつないでいかなければ途絶えてしまいます。生息流域を注意深く観察し、より良く生息しやすい環境を守っていきたくと思っています。



